

「みんなで繋げよう
スポーツ・レクリエーションの運営ノウハウ」
～大会や活動の実施に向けて～

実施日	講師
令和4年2月12日(土) 産業商工会館 展示室	植田 尚史 (公益財団法人日本レクリエーション協会 総務部長) 阿部 克俊 (社会福祉法人康和会久我山病院 医局長呼吸器科医学博士)

★★★講師からのアドバイス★★★

① 新型コロナウイルス感染症感染対策について(オミクロン株の特徴)

- ・発熱だけでは、感染の可能性があるのかを判断することは難しい。咳、鼻水、咽頭痛等の症状をしっかりと見る。
- ・感染の発生場所は、家庭内・学校が多い。参加者、運営者の家庭・学校の感染状況の把握も大切。
- ・基本的な感染対策は、マスクの着用、距離をとる、換気をする、接触時間を短くすること。
- ・効果的な換気のコツは、「**空気の流れを作る**」こと。
窓を開けられない会場でも、入口を開け、そこに送風機等で空気を流すようにすれば、空気の流れが作られる。
- ・少しの接触では感染のリスクは高くない。「**一定時間、同じ空間を共有すること**」で感染のリスクは高くなる。
競技中より、食事、更衣室、トイレの感染リスクが高いので、注意が必要。
- ・スポーツ中のマスクの着用が難しい場合は、会場に空気の流れを作り、接触時間を短くする等、環境の中で、どのような工夫が出来るかを考えることが大切。
- ・昨年秋頃の感染状況が収まっていた時期は、どのスポーツも行われていた。今後も、感染者数の増減が繰り返す可能性は高いので、収まっている間に、どう活動するか、予め計画を立てておくことが、活動を継続する為に必要。

② スポーツ団体活動の実施や継続に向けて

- ・屋内スポーツで、なかなか集まらない状況が続くと、継続への意識が弱まってくる。
「**仲間で集まること**」を大切に、スポーツ活動にこだわらず、仲間同士で屋外でのウォーキングやハイキング等、感染リスクの少ない場所で交流をすることも一つのアイデア。
- ・コロナに対して、「真剣に取り組んでいる。こういう対策で活動しています。」ということ、積極的に伝えることが大切。そのことで、参加者も安心して参加できる環境を作る。
現場では、実際にしっかり対策を行っている姿を見せることが重要。

受講者からのShare Memo

な る ほ ど



コロナとの正しい付き合い方、正しい感染予防をすれば運動も積極的にやった方が良いということ
をチーム仲間に伝えたい。



大会等を開催するうえで、コロナ対策を周知し、参加者に安心してもらう。
プレー以外の更衣室や飲食での感染リスクについてPRする。



屋内でも屋外でも空気が流れることによって、感染を防ぐことが
出来る。空気の流れを作っておくと良い。換気が重要！！



集まることの楽しさを共有する。
スポーツで集まらない状況でも、他のこと・目的で集まることで、
今後も、スポーツ活動に参加する意欲が継続する。



仲間づくりの大切さを伝えたい。



もっと学んでみよう！

令和2年度の
withコロナシリーズの
レポートはこちら



https://sportssuginami.org/contents/code/r_academy_2020